

福岡観世会定期能

平成二十八年(第二回)

二十五世 観世左近を偲ぶ



能

鸚鵡小町
おおむ こまち

杖三段之舞

観世 清和

とき 5月21日(土) 午後1時始〔開場:正午〕

ところ 大濠公園能楽堂

入場券 自由席 10,000円

前売入場券 指定席(2回綴)・・・18,000円
自由席(2回綴)・・・15,000円

発売所 大濠公園能楽堂事務所 092-715-2155

※指定席は2回綴券のみの発売となります。

※2回綴券をお買い求め頂いた方へ

◎ 2枚のうち、1枚は5月・12月のどちらの公演でもご利用いただけますが、もう1枚は12月公演のみでのご利用となります。

◎ 指定席の綴券を12月公演で2枚使用される場合、1枚は自由席券としてご利用いただけます。



二十五世 観世左近を偲ぶ

能組

連吟 半 藤 鶴 飼

川原 美栄子
松田 美栄子
多田 美栄子
小倉 康太郎
山内 敏弘
井内 政徳

仕舞

天松野放敦
鼓虫宮僧盛

今村 嘉太郎
多村 利之
鷹尾 貴信

山口 剛一郎
森本 哲一郎
今村 嘉伸

地謡 久保誠一郎

今村 嘉伸
坂口 信男
久保誠一郎

地謡 井内 政徳
今村 一夫
鷹尾 貴信

狂言

無布 施經

野村 万禄

講 今村 嘉太郎
今村 嘉伸
坂口 信男

仕舞

遊行 田柳

木月 寛次郎

地謡 今村 嘉伸
坂口 信男
今村 一夫

舞囃子

融 酌之舞

山階彌右衛門

白坂 保行
幸 正佳
吉谷 一彦
相原 嘉伸
今村 芳伸
観世 利之

一調

歌 占

観世 芳伸

小鼓 幸 正佳

能 鸚鵡小町

杖三段之舞

宝生 欣哉

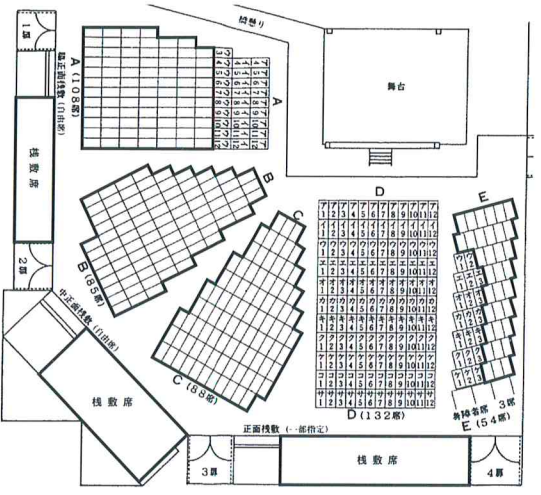
飯田 清一
白坂 信行
藤田六郎兵衛

後見 木月 孚行
観世 芳伸

地謡 今村 嘉太郎
久保誠一郎
森本 哲一郎
鷹尾 維教
坂口 信男

追加

〔終了予定 午後五時四〇分頃〕



おうむ こまち
◆ 鸚鵡小町・杖三段之舞 (つえさんだんのまい)
 陽成天皇は和歌の道への思い深く、秀れた歌を求め、撰ばれておりました。
 そこで昔は並び無き歌の上手でありながらも、現在は百歳の姥となり落ちぶれた身となっている小野小町のことを思い出され、新大納言行家を遣わし、天皇からの御歌を伝え小町からの返歌の出来映えを見てみようと思いいになりました。
 勅を受けた行家は、近江は関寺の辺へ向かいます。
 小町への憐れみの情を帝がお詠みになった和歌「雲の上はありし昔に変わねど見し玉廉の内やゆかしき」に対し小町の返歌は「内やゆかしき」を「内ぞゆかしき」とただ一文字を替えたものでした。
 これは鸚鵡返ししの返歌であると小町は言い、帝に対してこの無調法も和歌の徳に免じて許して欲しいと願います。
 また更に、歌道の話をし、身の衰れを嘆きますが、行家の求めに応じ、在原業平が玉津島明神で舞った法楽の舞を舞ってみせます。
 やがて行家を見送った小町は、関寺の庵へよろよと帰って行くのでした。
 〔記・菊本澄代〕

第二回予告

平成28年12月3日(土)午後1時始

能 楊貴妃 多久島利之

狂言 見物左衛門 野村 万禄

能 殺生石 森本 哲郎